

千年も前から、阿蘇の草原には、牛や馬が放されとったばい

草原でのんびりと草を食べる牛の姿は、なんと平安時代にも見ることができたらしいよ。阿蘇で放牧が行われていたことが古い本に書かれているんだ。阿蘇の人々は、千年もの間、田畑を耕し牛や馬を飼ってきたんだね。



うつくしいしま模様は、私たちが草を食べたしるしだモ〜。これは「牛道（うしみち）」と、呼ばれているモ〜。

牛たちは、かい主の声がわかるんだ。

ほくはダイコクコガネ。草原に転がっているフンを、ほくたちが食べるんだ。

放された牛や馬がもりもりと草を食べる。草原は、なめらかな緑のじゅうたんのよう。



ハナシノブ

草原など日の当たる場所を好み、青紫色のかわいい花をつける。阿蘇固有のもの。

6月下旬～7月上旬



ツクシマツモト

濃い朱色の花をつける。氷河期の生き残りで、現在は世界中で阿蘇の草原だけに生える。

6月下旬～8月上旬



うなり（阿蘇市）

阿蘇神社や国造神社のおんだ祭りに登場する白装束の女性たち。頭に神様たちの食事を乗せて運ぶ。

7月上旬



ダイコクコガネ

カブトムシのような立派な角を持つコガネムシの仲間。牛のフンの下に穴を掘って生活する。

通年

6月

2006年

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 芒種	7	8	9	10
11 入梅	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 夏至	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

阿蘇
草原再生

子供たちへ引き継ぐ千年の草原
いのちあふれる緑の草原

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 半夏生	3	4	5	6	7 小暑	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23 大暑	24	25	26	27	28	29
30	31					